

第 2 次秋田県読書活動推進基本計画 (案) について

平成 28 年 2 月 24 日
総 合 政 策 課

1 第 2 次基本計画の策定趣旨

「秋田県民の読書活動の推進に関する条例」に基づき、県民の読書活動の推進に関する施策を総合的に推進することを目的に、第 1 次基本計画(平成 23 年度から 27 年度まで)を引き継ぐ第 2 次基本計画を策定する。

2 第 2 次基本計画期間

平成 28 年度から 32 年度まで (5 年間)

3 第 2 次基本計画の特徴

県民の生活の場 (家庭、学校・職場、地域) に応じた読書活動について、「家族で読書」運動を提唱するなど、協働で展開する。

◎主な取組と関連指標《平成 32 年度目標》

(1) 医療・保健分野と連携した子どもの読書習慣づくり
<p>妊婦健診や母親・父親教室において、幼少期からの読書習慣の大切さや、母親の育児ストレスのケアにつながる情報提供とともに絵本リストを配布。 《指標》協力病院等を毎年度 10 施設ずつ増やし、累計 50 施設にする。 (*協力病院等：産婦人科、小児科、子育て世代包括支援センター)</p>
(2) 高校生の主体的な読書活動の充実
<p>社会に出てからも読書時間を確保し、生涯にわたって読書に関心を持つことができるよう、学校間での先進事例の共有化等を通して、本との出会いや読書する楽しさを体験できる機会を提供。 《指標》1 か月に 1 冊以上読む高校生の割合を 70.0% (㊦59.9%) にする。</p>
(3) 企業内文庫の設置による女性等の読書時間の確保
<p>女性、子育て・働き盛り世代の読書時間を確保するため、ワークライフバランスなどを推進する事業所等を対象に、市町村立図書館からの貸出による企業内文庫を設置。 《指標》女性が「週 3 時間以上 (1 日 30 分以上) 読書をしている」割合を 70.0% (㊦52.6%) にする。</p>
(4) 全市町村長が「秋田県ブックリーダー」となって地域読書を牽引
<p>全市町村長が「私の一冊」を紹介するほか、県民読書の日になんだイベントの開催など「秋田県ブックリーダー」として地域の読書活動を推進。 《指標》「本を読むのが好きだ」「読書習慣がある」と答える県民の割合を 80.0% 以上にする。</p>

平成28年度当初予算案
県民読書環境整備事業（11,784千円）

- 1 地域読書活動推進事業（5,167千円）
 - ・「スギッチリサイクル文庫」の拡大
 - ・「家族で読書」運動啓発事業、市町村との意見交換会
 - ・ホームページ「あきたブックネット」の改修

- 2 地域読書ボランティア育成事業（464千円）
 - ・地域読書ボランティア地区別研修会
 - ・プレママ・産後ママに贈る絵本ライブの開催

- 3 プロスポーツ等連携読書推進事業（1,172千円）
 - ・プロスポーツ試合会場での読書コーナー設置等
（「秋田ノーザンハピネッツ」「ブラウブリッツ秋田」との連携）
 - ・選手おすすめ本のリーフレット等啓発資料の作成

- 4 県民読書の日啓発事業（4,981千円）
 - ・「ふるさと秋田文学賞」募集及び受賞作品集の作成
 - ・「ふるさとと文学2016 in秋田」の開催
（日本ペンクラブとの共催）